

國際法外交雜誌

第五十三卷 第一二合併號

昭和二十九年五月十日發行

論說

公船の國際法上の地位

一橋大學教授 大平善梧

——クリコフ船長事件について——

地域主義の偏向

東京大學助教授 寺澤一

Trade with China

Dr. T. Baty

資料

國際連合の形成とローズヴェルトの『雄大な構想』(二・完)

法學士 角田順

紹介

Alexandre-Charles Kiss, L'Abus de Droit en Droit International, 1953

C.A. Pompe, Aggressive War—An International Crime—, 1953

會報

トーマス・ベイティ博士の訃(寫眞卷頭)

國際法學會秋季大會記事・他

國際法外交雜誌

第三號 第五十三卷

昭和二十九年八月十日發行

論說

大陸棚の法理(一)

東北大學助教授 小田 滋

砲艦政策の形成(一)

——一八三四年清國における——

東京工業大學助教授 衛 藤 藩 吉

資料

ナヴィサート・システム

高 梨 正 夫

紹介

W. Goldschmidt, Die philosophischen Grundlagen des IPR, 1952

會報

國際法學會春季大會記事・他

公文書

ソ連人等の密入國事件の判決

イラン石油事件判決

國際法外交雜誌

第三十五卷 第四號

昭和二十九年十一月三十日發行

論說

英國の外務機構

慶應義塾大學教授 英 修 道

大陸棚の法理(二)

東北大學助教授 小 田 滋

資料

ジュネーヴにおける空戦及び盲目兵器に關する

赤十字専門委員會の議事概要

榎 本 重 治

最近のヨーロッパ國際法學界について

早稲田大學教授 一 又 正 雄

紹介

S. F. Wright, Hart and the Chinese Customs, 1950

會報

國際法外交雜誌

第五號 第三十五卷

昭和十三年四月二十二日發行

論 說

國際經濟とILO

——經濟的・社會的正義達成のために——

九州大學教授

菊池 勇夫

小英國主義論(二)

大阪市立大學助教授

神谷 不二

砲艦政策の形成(二・完)

——一八三四年清國に對する——

東京工業大學助教授

衛藤 瀋吉

資 料

フランクリン・ルーズヴェルトと日本

——一九一三年より一九三三年に至る——

W・L・ニューマン
關 寬治 譯

會 報

總 目 錄

文 獻 目 錄

學 會 記 事